

「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト
「つながるひろがる にほんごでの暮らし」活用オンラインセミナー

地域での活用事例

NPO法人フィリピンナガイサ



はんば
半場 和美



<http://filipinonagkaisa.org/>



FILIPINONAGKAISA...「スペース」なし
フィリピンナガイサ...「・」なし

私たちは
「ひとつ」
四半世紀以上

【自助努力】

1994年に日本人配偶者と結婚した女性たちが立ち上げた

【家族ぐるみ】

世代継承:時代(縦軸)

2009年ごろ、私が入会したころはフィリピン人主婦層が活躍していて、そこに、子どもの呼び寄せと日系人の来日・滞在が増え始めたころだった

【多文化共生】

地域連携:時代(横軸)

2012年、NPO法人化した(団体の転機)

定款 第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、浜松市およびその近郊に暮らす在住フィリピン人に対して生活支援・**社会教育活動**を通じて日本人住民との相互理解を深めることを促し、自立・共生社会実現を目指すことを目的とする。

定住フィリピン人が コミュニティ内に埋没するのを防ぐこと

- *【子ども支援】 「ハロハロ教室」(浜松市委託)
- *【高校受験支援】 「面接・作文クラス」((公財)浜松国際交流協会HICE委託)
- *【キャリア・リカレント教育】 「公共職業訓練」(静岡県立浜松技術専門校委託)

- *【生活相談】 【国際交流】



文化庁委託 「 BAYANIHAN ~みんなで地域をつくっていこう~ 」

(平成22年度以降~現在/×27年度)

モヤモヤ…「地域」日本語教室、 どれも盛り込むにはどうしたらいいのか

- ①学習者のニーズ
- ②日本語教師・バイリンガル教師の「教えたい」という思いに応える
- ③ボランティアさんの思いに応える(おしゃべり・「カフェ」)
- ④「やさしい日本語」の普及
- ⑤防災・減災に備えた人々のつながり・場づくり
- ⑥自治体や関係機関の多言語パンフレット周知(レアリア)・情報提供
- ⑦アクティブラーニング／主体的で対話的で深い学び

- ・ポートフォリオの活用(カリキュラム案 能力評価について)
- ・**つなひろの活用** (外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策(施策23))

など






モヤモヤ…

レベル1 ○○はどこですか

すみません、ぎゅうにゅう は どこですか。
Excuse me, where is the milk?

お店の人に 聞いてみましょう。
Let's ask the shop staff.

| | | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
|  |  |  |  |
| | | | |
| | | | |



- ・スクリプトを、最初からすべて解説
- ・代入練習(フィリピンの食材を入れて、アフレコで)



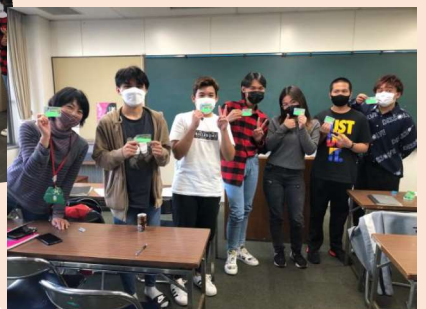
「つなひろ」レベル2 気づき始めたこと

【レベル2 シーン7-2 「なにかあたらしいことをやりたいです」】
「在留カードを持って行ってください。あとは図書館の人が教えてくれますよ」

「1人で大丈夫ですか。」
「はい、大丈夫です！ありがとうございます。」

♪♪♪

【レベル2 シーン11-1「かしだしカードをつくります」】
「すみません、初めて来たんですけど…」



「つなひろ」レベル3 気づいたこと①

Can do!

【レベル3 シーン2-1 「これがひなんばしょのマークです。」】

—FN ver.—

★自宅近くの「ひなんばしょ」を覚える

—つなひろver.—

★台風や地震のときの「避難場所」について、
たずねることができる
★その説明を理解し、さらに疑問に思ったことを
きくことができる

レベル1 : 「自分でできる」

レベル2・3: フィリピンナガイサがやっている「できる」の着眼点と少し違う？

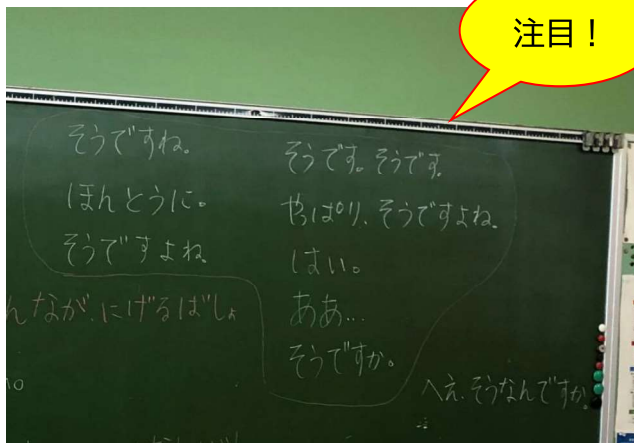
「つなひろ」レベル3 気づいたこと②

私なりに解釈してみたところ、

★このCan-doは、

「鈴木さんと話せて、安心しました。」を引き出すためのものかも！？

★相槌で、会話が進展している！！



鈴木さんと話せて、
ちょっと安心しました。

モリモリ…「地域」日本語教室、 どれも盛り込むにはどうしたらいいのか

- ①学習者のニーズ
- ②日本語教師・バイリンガル教師の「教えたいたい」という思いに応える
- ③ボランティアさんの思いに応える(おしゃべり・「カフェ」)
- ④「やさしい日本語」の普及
- ⑤防災・減災に備えた人々のつながり・場づくり
- ⑥自治体や関係機関の多言語パンフレット周知(レアリア)・情報提供
- ⑦アクティブラーニング／主体的で対話的で深い学び

- ・ポートフォリオの活用(カリキュラム案 能力評価について)
- ・**つなひろの活用** (外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策(施策23))

など



そうだ！① 「ファシリテーション」で網羅してみよう



| | |
|--------|-------------------------------------------------------------------|
| ③2-1 | これが ひななばしよの マークです。 |
| Can-do | ★台風や地震のときの「避難場所」について、たずねることができる ★その説明を理解し、さらに疑問に思ったことをきくことができる |

| | 内容 | 目標 | メモ |
|----|-----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 1 | 動画視聴「今日のテーマは何だと思う？」 | 場面・内容を理解しよう | |
| ★2 | ポートフォリオ配布 | 目標を共有しよう | |
| 3 | ①「避難場所」→動画からどんなところかを聞き取る | 避難場所がどんなところか、「つなひろ」動画から聞き取ろう(避難場所って、地震のときとかに、みんなが逃げる場所のことですか) | 一般的に公園のほか、学校、協働センターなど公共施設であることが多い |
| | ②相槌のバリエーション考える | 動画から、相槌のバリエーションを見て、表情や声色をまねてみよう。 | 相槌のフェーズを覚える ※マスクで目元と眉毛がコミュニケーションになる |
| | ③鈴木さんと話せて、ちょっと安心しました→鈴木さんと話せて、よかったです | 気持ちを述べてお礼を言ってみよう | 協力:実習生 やさしい日本語おしゃべり |
| 4 | ①協働センター内を防災探検する ※集合写真 | センター長とともにスマホで撮影しながら、館内を防災の観点から探検しよう | 協力:協働センター長 語彙:火災報知器・消火器・非常口・避難経路など 表現「センター長と話せて、ちょっと安心しました」 |
| | ②防災に関する資料を見ながら、わからないことをボランティアさんに尋ねたり、話し合ったりする | 相槌を打ちながら、話題を展開しよう | 資料:防災マップ(HICE)／避難生活ガイドブック(静岡県) |
| | ③自宅・会社の近くの避難場所に印をつける | 協働センターや自宅近くの避難場所を知り、防災マップに印をつける | 参考:HICE防災マップ・静岡県避難生活ガイドブック |
| ★5 | ポートフォリオ記入(まとめ) | 今日のCan-doを達成することに通じる語彙や表現を、講師が全員向けに確認 | 講師と実習生が、学習者と共に達成度を確認、感想を話し合って記載する |



ファシリテーション



NPO法人フィリピンナガイサのホームページ 活動事例をご覧ください。



「防災」をテーマにして
I've learned different types of disaster.

教案の型を作ってみました



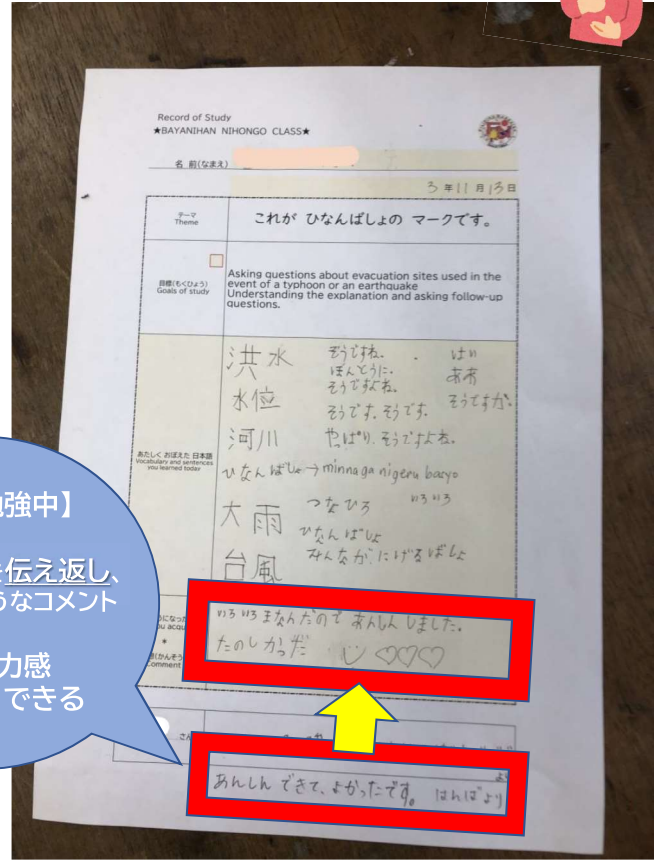
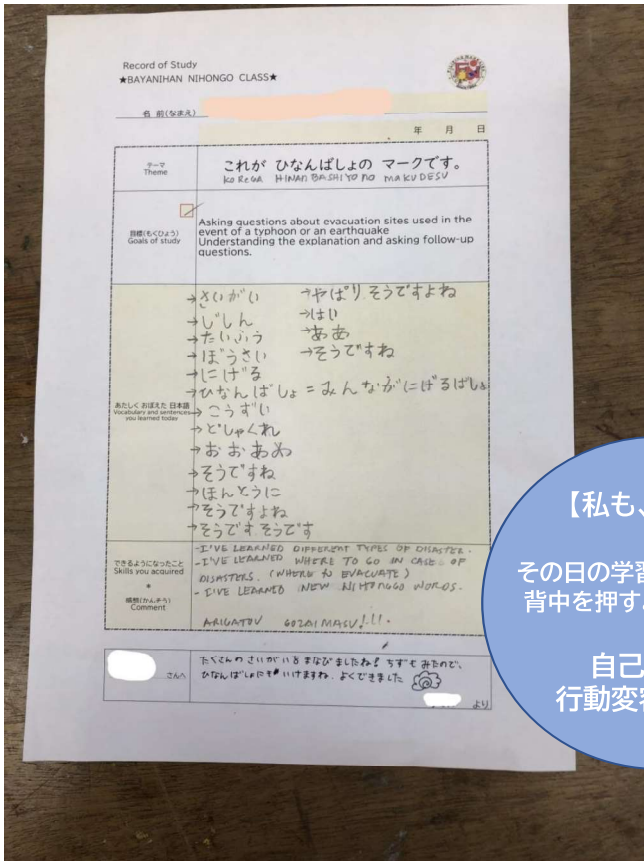
| | |
|--------|--------------|
| 課 | タイトル(日本語のまま) |
| Can-do | 「つなひろ」から転載 |

| | 内容 | 目標 | メモ |
|---------|-----------------------|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | 1 動画視聴「今日のテーマは何だと思う？」 | 場面・内容を理解しよう | 聞こえたフレーズや語彙をシェアする |
| ★ | 2 ポートフォリオ配布 | 目標を共有しよう | 今日の学習について、ラポール形成する |
| Can do | 3 ① | ～しよう | モヤモヤをカバー |
| | ② | ～しよう | |
| | ③ | ～しよう | |
| モヤモヤカバー | 4 ワーク活動など | ～しよう | 目的・目標に沿いながらも、「フリー」を取り入れることで、学習を広げる |
| ★ | 5 ポートフォリオ記入 | まとめ | <ul style="list-style-type: none"> ・「新しく覚えた日本語」の誤字脱字を確認 ・感想を聞く ・コメントを書く(学習者のレベルに合わせて、文字や書き方を調整し、「言葉にして」返してあげる(自己効力感へ) ・ポートフォリオを撮影させてもらう |
| | 6 集合写真撮影 | | |



「目標:～しよう」で統一

そうだ!② 「ポートフォリオ」で個人の学びを確認しよう



【私も、勉強中】
その日の学習を伝え返し、
背中を押すようなコメント
自己効力感
行動変容:できる

ポートフォリオで「学び」が見える化したら
教師側にも「気づき」があった

必要な学びは個々に違う
拾うポイントも個々に違う
自身でさらに学習を広げる人もいる

それぞれが、「学び」を持ち帰っていることに気づいた
↑ ↓
持ち帰った「学び」を持ち寄り、多様な人々が合流する
(社会形成)



現場ごとにアレンジ（したいという「余白」）

- ・スクリプトとCan do! の「接地点」を自分で探す
※現場に合わせるため、ガイドブックをいったんは参考にしない

激動時代の日本語教育
正解はやってみないとわからない

教師も、学習者も、地域住民も
「みんなが学び合う場」をつくる
「知の循環型社会」

- ・接地点以外は、思い切って授業では扱わない

・ワーク活動の視点

- ・自律学習につながるもの
- ・交流活動に結びつくもの
- ・**振り返り・共有**を必ず入れる



プロジェクターは、使わないこと
にしました。



- ・学習者・参加者の皆が視聴するペースを尊重
- ・教室が暗くなってしまう（場づくりに不向き）
- ・ウェブサイトの「使い方」自体が学び

【日本語学習者を社会的存在として捉える】

「つながるひろがるにほんごでの暮らし」を使って 気づいたこと

日本社会との
接点づくりによって
変化が生じた例



実は、

- ・（最近外国人が多いんですが、）
おすすめの翻訳アプリありますか
- ・（うちのサービスを外国人にも利用してもらいたいんですが、）
周知の協力をしてくれませんか

「社会のリアル」を学びあい、「社会をよりよく変えられる日本語教室」は、
日本語学習者を社会的存在として捉えることにもつながる…

のではないか



「 BAYANIHAN ~みんなで地域をつくっていこう~ 」

